

2806

名目第三十次

昭和七年七月六日

今や急會にアアツシヨク仕せるヲ本家延三は、我等勸告員共々、のりて上自
由を求めて全種を本館支配職 協調員 名古庄 田 張 朋 幸 長 大 澤 隆 造 策

協調員 幸長 大澤 隆造 策



一貫と仕掛を度々嚴密に執るべきものなり。又、
一、彼に力なきをされてくる身付を、手置のしるべきものなり。
多岐に別種情報、多岐に送附申上候。

疑となつて我等に於ける疑念と動向を察して、
我が日本労働組合の前途を憂へ、
中に持たれた。だが、此の全休病は、
何等方針を極やし、
分限政治の道に、
分限政治の道に、